

会報

秋

No.143

2008.10

社団法人北海道電業協会



目 次

「時の経過とともに価値を増す公共建築物の整備」北海道建設部建築局 建築局長 瀧 田 裕 道...	1
法人職務執行者就任ご挨拶(株)関電工北海道支店 支店長 樋 口 雄 一...	2
.....保安工業(株)北海道支店 支店長 宮 部 金 彦...	3
.....北都電機(株) 代表取締役社長 川野辺 弘 文...	4
.....協信電気工業(株) 取締役社長 佐 藤 繁 男...	4
平成20年度 安全大会.....	5
平成20年度 札幌市電気設備施工研修会.....	6
技術講習会 「積算業務の基礎と実務」.....	7
平成20年度 登録電気工事基幹技能者特例講習会.....	8
1級(実地)電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会.....	9
技術系学校先生との現場見学・懇談会.....	10
技術系大学生等との現場見学会.....	11
ーシリーズー 1/212だより	
・「美しき緑のまち」七飯町七飯町長 中 宮 安 一...	12~13
・やさしさと躍動のふれ愛タウン「とよころ」豊頃町長 宮 口 孝...	14~15
北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会.....	16
現場からこんにちは.....	17
厚生委員会行事報告.....	
第3・4回ゴルフ部会コンペ成績.....	18
第1回ボーリング大会成績.....	19
野球部会 活動報告.....	20
業界だより、理事会・三役会・委員会報告.....	21~22
事務局日誌.....	23
編集後記.....	24



「時の経過とともに価値を増す 公共建築物の整備」

北海道建設部建築局

建築局長 瀧田 裕道

日頃から、(社)北海道電業協会の皆様には北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、内閣府による最近の日本経済の動向は「景気は、このところ弱含んでいて、先行きについては、当面、弱い動きが続くとみられる」と報告されています。

「いざなぎ景気」を上回った戦後最長の景気拡大は終了し、北海道においては回復の兆しを感じることが出来ないまま過ぎてしまったと云うのが、皆様方の率直な実感ではないでしょうか。

このような中、北海道新幹線は7年後の函館までの開通に向け工事も本格化し、札幌までの早期着工が待たれるところです。

そして、7月には環境を主要テーマとした「北海道洞爺湖サミット」が、2050年までに世界全体のCO₂排出量の少なくとも50%削減を達成する目標を採択し終了しました。

地球規模で環境問題が深刻化する中、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築するために、先進国が率先してエネルギーの効率化や、新エネルギーの開発に取り組んでいくことが求められるものであり、私達も業務の中で貢献していくことが必要です。

建築局では、本年度の執行方針において「時の経過とともに価値を増す公共建築物の整備」を基本理念とし、その実現のために六つの目標を設定しました。

その一つに「環境に配慮した公共建築物の整備」を掲げ、既存施設の設備性能検証と運用改善の提案によりファシリティコストの縮減を図り、また、施設整備における環境負荷の低減に向けた3Rの推進に努め、環境面での持続可能な建築物の整備を行い、環境対策に取り組んでいきます。

また、「公共工事における道民の信頼確保と建設業の健全な発展」においては、1千万円以上の工事について、全面的に一般競争入札に移行し、予定価格の事後公表、さらに、価格と品質で総合的に優れた調達を実現するための総合評価方式の拡大を図り、公平性、透明性、競争性が高い入札契約制度の改革を進め、適正な品質の確保に努めていきます。

「営繕技術力の向上と活用」においては、皆様の現場に、短期企業派遣研修として職員を受け入れていただき、現場管理の実務を学ぶことなどで、職員の技術力の向上を図るとともに、局内に市町村向け営繕相談窓口を設置するなど、建築局が培ってきた技術力の活用を図っていきます。

活力と夢と希望が未来へと持続する北海道の実現にむけ、建築局としても「時の経過とともに価値を増す公共建築物の整備」を通し、皆様と一緒に取組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、貴協会のますますの発展と会員皆様のご活躍、ご健勝を心からお祈り申し上げます。

法人職務執行者就任ご挨拶



株式会社関電工
北海道支店 支店長

樋口 雄一

秋の気配がいよいよ濃くなってまいりました今日この頃ですが、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、前支店長 岩下良二の後任として7月1日付北海道支店長に就任いたしました樋口雄一でございます。

平素は、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり紙面をお借りして心より厚く御礼申し上げます。また皆様のご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会ならびに業界の発展・繁栄に最善を尽くす所存でございますので、前任者同様どうぞよろしくお願い申し上げます。

当社は、昭和19年設立以来、地域社会との共存

共栄を目指す総合設備企業として、積極的な事業活動を展開してまいりました。

昭和45年に札幌支社を開設以来、現在では、札幌の北海道支店を中心に千歳・帯広・函館に営業所、旭川・釧路・苫小牧に事務所を配置し活動いたしております。

さて私は札幌生まれの札幌育ちではありますが、入社以来、関東中心で業務をしてまいりました。この度、出身地で業務に従事できることはこの上なく最大の喜びと感じております。

我々の置かれている北海道建設業界は益々厳しさを増しておりますが、明るく活気ある北海道となるように企業や自治体あるいは地域の発展に貢献することを目指し努力して参る所存でございます。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健康を祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。





保安工業株式会社北海道支店
支店長

宮 部 金 彦

澄み切った空にいわし
雲、秋の気配を感じさせる
この頃、会員の皆様には

益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

この度、前支店長内田忍の後任として、4月1日付で北海道支店長に就任いたしました宮部金彦でございます。

平素より、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚くお礼申し上げます。前任者同様よろしくお願いいたします。

さて、私事ですが、岐阜県出身で名古屋、東京と勤務を経まして、この度、札幌勤務となりました。猛暑地育ちですので、この夏は今までにない“快適”な生活を送ることができました。ただ、冬は“相当厳しいだろうな…”と、いまから覚悟しております。

さて、建設業界を取巻く経営環境は厳しくなる一方であります。特に原油価格の高騰による原材

料価格の上昇は、今後も予断を許さない状況にあります。景気後退からの設備投資抑制、公共事業費の削減とそれらに起因する競争の激化により、建設会社の倒産も相次ぎ、業界全体に元気が無く、建設業の存在感も薄らいでいるようです。更に、建設投資の縮小傾向は当面続く事も予想されます。しかしながら、これから求められる環境社会（温暖化防止）、高度情報社会、防災型社会の構築など、これからの社会資本の整備には建設業の存在は欠かせません。事業内容は「新設」から「更新」にシフトされるものの、我々建設業は国民生活の根幹である社会資本整備の担い手であることには変わりなく、長年培ってきた電設技術をとおして新しい社会の構築に貢献する事が求められております。そして、新技術（工法）の開発、各種提案能力の向上、施工の効率化（生産性の向上）を継続し、次の世代が希望の持てる業界としなければならないと考えております。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新任のあいさつとさせていただきます。

社団法人 北海道電業協会活動スローガン

1. 我が業界の地位向上と一緒に働く皆さんの満足度向上のため、社会ルールに則り「適正で合理的な競争」を展開しよう
2. 顧客ニーズに的確に応え、明確なコストで品質を確保する「分離発注」とそれを支援する「CM方式」の導入を推進しよう
3. 競争力の原点である電設技術向上のために、「人材の確保・育成」に努め、この技術を次世代へつなげよう



北都電機株式会社
代表取締役社長

川野辺 弘 文

初秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、前社長荒博文の後任として6月30日の株主総会で選任されました川野辺弘文でございます。

平素は電業協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚くお礼を申し上げます。前任者同様よろしくお願い申し上げます。

当社は昭和13年に北海道で産声を上げて以来、今年で70周年を迎えました。

その間、札幌に本拠をおきながら、室蘭、東京、名古屋、大分の各支店を開設し、製鉄所電気設備の建設及びメンテナンス、原子力発電設備の分野に進出し、さらにはシステムエンジニアリングまで手掛ける、電気設備に関する総合技術力を有する会社に成長しました。

さらには、平成15年に太平工業と業務提携し、17年には太平工業の連結子会社になりました。私は、太平工業を退任し、社長に就任しましたが、北海道勤務は20年ぶりになります。原油、穀物、鉱石等資源の過去に例を見ない高騰などで先の見通しが立たない状況ですが、一步一步未来を信じて頑張っていきたいと思っています。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



協信電気工業株式会社
取締役社長

佐 藤 繁 男

澄み渡る秋空が映える一番気候の過ごしやすい季節になりましたが、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私事この度、さる7月31日の株主総会並びに取締役会で、前取締役社長 加藤勝利の後任として、取締役社長に就任いたしました佐藤 繁男でございます。

平素より北海道電業協会及び会員の皆様には大変お世話になり、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。又皆様のご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会のさらなる発展と繁栄に微力ながら尽くすつもりですので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

当社におきましては、創業大正12年、法人化60周年を来年3月に迎える予定です。偶然にも私の人生と同じ歴史を歩んでおります。私自身、この業界に入り30年余り営業を主体に歩み、近年当社の全道の支店、営業所の営業、技術を取りまとめる立場で頑張っておりましたので、協会の方々には若干縁が浅く、名前と顔が一致せず失礼があるかと思いますがお許しを願いたくお願い申し上げます。

私達、電気工事業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、社会システムの流動化も一層速く進んで戸惑う状況になっていますが、「元気」、「知恵」、「汗」を出し、前へ向って取り組んでゆく所存です。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員の皆様のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

平成20年度 安全大会



平成20年度安全大会は、中間法人札幌電設業協会と共催で6月26日(木)午後1時30分より北海道電気会館において開催された。

本年も6月1日～30日までを準備期間、7月1日(火)～7日(月)を全国安全週間（スローガン：トップが率先 みんなが実行 つみ取ろう職場の危険）として実施されます。

当日は、両会員企業の経営者をはじめ、現場管理技術者まで約200名が参加し、労働災害防止策や交通安全に対する意識付けについての講話を受けました。

開会の挨拶で北海道電業協会の広島専務理事から「道内の電気設備業界は厳しい経営環境を強いられているが、どんなに経営環境が厳しくても安全管理に手抜かりがあってはならない。経営者と現場が一体となって、安全体制の確立に努めて欲しい」と力強く呼びかけた。

安全講話では札幌市都市局芝電気設備課長から、アスベスト災害防止について。道警本部の小塚参事官からは道路交通法改正のポイントなどを、それぞれ具体的な事例を交えて講話をいただきました。

閉会の挨拶で、札幌電設業協会の橋本安全衛生委員長から、参加した全員に安全意識の高揚を訴え安全大会を終了した。

講習内容

1. 安全講話

札幌市都市局建築部電気設備課長

芝 富士夫 様

2. 交通安全講話

北海道警察本部交通部参事官

小塚 耕平 様

安全大会 中間法人 札幌電設業協会
社団法人 北海道電業協会



安全講話 芝 課長

安全大会 中間法人 札幌電設業協会
社団法人 北海道電業協会



交通安全講話 小塚 参事官

平成20年度 札幌市電気設備施工研修会



平成20年7月16日(水)午後1時30分から北海道電気会館において、当協会と札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など約165名が参加した。今回で25回目となるこの研修会は、札幌市から担当者をお招きし、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明があった。

最初に、市建築部の芝電気設備課長から、今後の発注について、公住下野幌団地や公園便所新築・建て替え、円山動物園リニューアルでの野生復帰ゾーン各施設の電気設備、老朽化した区役所の受変電改修工事など見通しを示した。さらに、北海道洞爺湖サミットでも話題になった「環境」について、二酸化炭素削減のため「これからは新エネルギー・省エネルギーの導入が重要になってくる」と述べられ、札幌市の取り組み状況などを説明した。

工事管理室の馬場係長からは、2007年度の電気工事成績評定について平均点が74.7点と06年度よりも1.2点上昇したことを報告「年々、高得点側にシフトしてきている、特に施工管理や品質管理が良くなってきている」と述べ、各社の技術力の向上について評価された。

続いて、各社が事前に提出していた質問事項に



講師 芝 課長

に対する回答、検査結果に対しての報告、講評などがあった。

【研修内容】

1. 札幌市発注電気設備工事に関する講話
2. 電気設備工事検査に関する講評および業界からの質問・要望に対する回答
3. 工事提出書類の見直しについて

【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課長	芝	富士夫	様
電気一係長	石田	聡	様
電気二係長	山本	哲	様
札幌市財政局管財部工事管理室			
電気検査担当係長	横田	和裕	様
〃	馬場	幸宏	様

技術講習会「積算業務の基礎と実務」



平成20年7月31日(木)午後1時から苫小牧電気会館会議室において、当協会と苫小牧電業協会共催による「積算業務の基礎と実務」の講習会を開催し、会員企業の関係者25名が参加した。

開催にあたり主催者を代表して、苫小牧電業協会の瀧澤会長から「昨今の官公庁工事の案件は利益を上げることが難しく、適正な積算技術が必要とされる。そのためにも、本日の講習会で積算業務を学びしっかりと身に付けていただきたい」と挨拶された。

講師には、北海電気工事(株)営業部設計積算G課長の鈴木文平氏が日本電設工業協会本部から派遣された。

鈴木氏は「受注者にとっては安すぎると経営的に不利益である一方、高すぎると落札できず、近年の厳しい受注環境下においては適正な積算が不可欠である。日ごろから関係法規、施工方法を熟知し、積算時には多くの資料と情報を取り入れる

ことが重要である」と強調された。講習会ではテキスト「電気設備工事費の積算指針」に基づき、積算の基本事項など要点を参加者にわかり易く解説された。

特に積算手順では「設計図書の質疑応答に関する提出・回答期限の事前確認の徹底、数量拾い出しの際にはメーカーへの見積り依頼を先にすれば時間の短縮につながる」ことなどをアドバイスされた。

最後に、積算の演習問題を行い終了した。

【講習内容】

- 積算の基本事項
- 直接工事費
- 労務費
- 間接工事費（共通費）の積算
- 演習問題



開催挨拶 苫小牧電業協会 瀧澤会長



講師 鈴木文平 氏

平成20年度登録電気工事基幹技能者特例講習会



(社)日本電設工業協会北海道支部主催による登録電気工事基幹技能者特例講習会を、平成20年8月28日(木)と9月19日(金)に北海道電気会館において開催した。

平成20年度以降に実施される登録電気工事基幹技能者認定講習会に合格した人は経審加点の対象となることから、過去の終了試験合格者も加点対象とするための特例講習会で、63名が受講した。

(社)日本電設工業協会では、平成10年度から国土交通省が提唱する「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」を踏まえ、いち早く電気工事基幹技能者認定講習会を実施し、平成19年度までに10,779名の資格者を認定してきた。このうち道内では432名が認定されている。

国土交通省では、建設生産システムの中で基幹技能者を中核的な役割を担う主任技術者と位置付けるため、平成20年度から実施される基幹技能者認定講習の終了試験合格者を経審で技術加点することを決めている。



開会挨拶 工藤委員長

日本電設工業協会では、これまで認定してきた電気工事基幹技能者も同様の加点対象とするよう今後、5年間かけて特例講習会を実施する。

講習会では初めに、当協会技術安全委員会の工藤委員長から、特例講習開催の経緯について説明。さらに「高い能力を持った基幹技能者としての役割を認識し、現場で有効に反映させて欲しい」と挨拶された。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会技術安全委員会
委員長 工藤 洋
2. 建設技術者の労働環境
電気工事基幹技能者のあり方
関連法規
成田 廣 芳 氏
北海電気工事(株)電設工事部次長
3. 基幹技能者の現場実務 1
吉崎 敏 明 氏
拓北電業(株)取締役営業推進部長
4. 基幹技能者の現場実務 2
外岡 甫 氏
協信電気工業(株)常務取締役
5. OJT教育
澤田 博 氏
三共電気工事(株)常務取締役工務部長
6. 専門講習
内山 優 氏
(株)北弘電社技術部 担当部長

1級（実地）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会



平成20年9月5日(金)、北区のセントラル札幌北ビルにおいて(社)日本電設工業協会北海道支部と(財)地域開発研究所との共催による受験準備講習会を開催した。

この日の受験準備講習会には、学科試験をパスしている78名が受講し、施工管理技士の資格取得に向けて、講師が説明する出題傾向や回答の仕方などについて勉強した。

本試験は10月19日(日)に行われ、合格発表は来年2月6日の予定。同試験に合格すると、1級電気工事施工管理技士の資格が得られ、建設業法に定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場

場に置く管理技術者、として認められ、経営事項審査でも資格者一人当たり5点が与えられ、公共工事を受注する際の企業の技術力として評価されるなど重要な資格である。

受講生は、事前に購入していた「実地試験問題解説集」と、当日配布された過去の出題傾向と問題項目の資料をもとに熱のこもった講義が行われた。

講師からは、年々試験が難しくなっている現状説明があり、特に配点が高い施工体験記述では、具体的な現場経験の有無が問われるので、経験した事をそのまま書くこと。文章が不得手な人は箇条書きがよい。などのアドバイスがあった。

また、今年度の問題を予測するのは難しいが、労働災害、工程管理、施工管理、に関する解答を予め準備しておくこと。文章の構成も主語、述語の基本的な使い方など、日頃から簡潔にまとめるよう訓練が必要である。など注意喚起して丸一日の講習会を終了した。

講習プログラム

時間	科目	講師
9:20~10:50	電気設備全般	大栄電気(株) 営業部 技士長 浅香 健治
11:00~12:25	法規	
12:25~13:15	昼休み	
13:15~15:20	施工管理 (品質・安全管理を含む)	大成建設(株) 札幌支店建築部 設備室次長 小林 由嗣
15:30~16:40	施工経験記述指導	

受講者数 78名

技術系学校の先生との現場見学・懇談会



平成20年7月29日(火)午前10時30分から当協会および日本電設工業会北海道支部共催による技術系学校の先生との現場見学・懇談会を開催した。

電業協会と技術系学校相互の現状認識の把握と業界への意見、要望を聞くため毎年行っている。

今回は専門学校4校、高校4校から8名の先生が出席。協会からは中野副会長をはじめ8名が出席した。午前中は、創成川通アンダーパス連続化事業の工事現場を見学した。

当施設は会報夏号の「現場からこんにちは」でご紹介したとおり、平成18年12月着工して平成21年3月完成予定で進められている。

区間は南5条線～北3条線の約1,100mで地上4車線・地下4車線の8車線となる。

主要設備としては、トンネル照明584台、CCTVカメラ14台、非常電話10台、火災報知機72台、受電容量は1,100kVAで6.6KV2回線（常用、予備）受電方式。

見学前に当協会会議室において、北電力設備工事(株)工事部の高田課長から工事概要の説明をした後、現場見学へ向かった。

午後1時から同会議室において懇談会を実施した。開会にあたり中野副会長から、最近の建設業



界を取り巻く厳しい環境や団塊世代の大量退職といった現状を説明。今後は地球温暖化に対応するため省エネルギー・新エネルギー需要や既存設備のリニューアルなどの急拡大が予想されるので、これら新たなビジネスチャンスに対応するため、人材確保や育成は業界として重要であり、これからも優秀な人材を当協会に送り込んでいただきたいと挨拶された。

懇談会では、協会からは加藤総務委員長から当協会の事業内容の説明があり、つづいて事務局から道内の技術系学校を対象に毎年調査している「平成20年3月卒業生の就職状況」及び「平成20年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告した。

学校側からは「優秀な人材を道内に残したいが、道内企業は求人数が少ない。道外企業に比べると道内企業の求人情報は遅い、もう少し早く求人票を出して欲しい」などの意見・要望が出た。

当日の参加校、北海道職業能力開発大学校、北海道総合電子専門学校、札幌科学技術専門学校、日本工学院北海道専門学校、函館工、帯広工、札幌琴似工、留萌千望高校



技術系大学生等との現場見学会



平成20年8月5日(火)午前10時30分から当協会および日本電設工業会北海道支部共催による技術系大学生等との現場見学会を開催した。当日の参加者は北海道工業大学、北海道職業能力開発大学校、北海道総合電子専門学校、札幌科学技術専門学校の4校から教授2名、学生11名が参加した。

今回は7月29日に実施した技術系学校先生との現場見学会と同様に札幌市が発注した創成川通アンダーパス連続化工事現場を見学した。

トンネル照明を担当する北電力設備工事株の高田課長から、道路照明で使われている高圧ナトリウムの利点や道路照明は奥に行くに従って暗くなるように配置していることなどを説明。

受変電設備を担当する三共電気工業株の林工事主任から、トンネル内延長は880mなのに対しケーブルを入れる管は延べ350kmと札幌から青森までの距離に匹敵するなどを説明。一行は来年3月に供用開始を迎えると徒歩では入れなくなる現場内を歩き、担当者からの現場説明にメモを取りな

がら熱心に聞いていた。

昼食後の懇談会では、加藤総務委員長から事業内容などの概要説明があり、つづいて澤田技術安全副委員から、資格取得試験などについて説明があった。特に、国家試験の資格取得に向けて、旺盛に取り組むようお願いした。

同行された先生からは、学校の授業では体験できない現場の最先端設備に触れる事ができて大変勉強になった。今後も継続していただきたい。

現場責任者の説明を聞いて現場での仕事ぶりを感じ取る事ができ学生たちにとっては大変有意義であった。

生徒からは、普段見ることのできない現場を見ることができて大変勉強になった。ひとつの会社だけでなく沢山の会社が一つの工事をやっており、安全管理が徹底していることを感じた。自分も現場責任者を目指して資格取得にチャレンジしたい。などの意見・感想があった。





「美しき緑のまち」七飯町

七飯町長 中 宮 安 一



七飯町は、北海道渡島半島の南部に位置し、北海道の表玄関函館市から約16kmの距離にあります。温暖な気候と肥沃な土壌に恵まれ、明治時代には北海道開拓使により農業試験場が建設され、洋種農作物の栽培が行われたことから、北海道農業の基礎となる近代農業発祥の地と言われています。現在でも、水稻をはじめ馬鈴薯・大根・人参などの畑作、りんご・ぶどうなどの果樹、酪農、畜産と全般に渡っており、近年はカーネーションをはじめとする花き栽培が盛んに行われています。

また、町の北部には、新日本三景「大沼国定公園」を擁し、大沼・小沼・蕁菜沼、秀峰駒ヶ岳等の大自然は、ヨーロッパ型リゾート地としてもその名を馳せています。

【町の概要】

- ・面積 216.61km²
- ・人口 29,061人（2008年7月末現在）
- ・世帯数 12,236世帯（同上）
- ・町の木 あかまつ
- ・町の花 りんごの花
- ・町ホームページ

<http://www.town.nanae.hokkaido.jp/>

【施設・イベント紹介】

■七飯町文化センター

三階建ての近代的な施設は、町民の文化・芸術を生み出す泉。固定1,000席のパイオニアホールをメインホールとし、350人収容のスターホール、その他に会議室、和室、茶室、美術室、技工室、陶芸室などを備えた文化活動の拠点です。



■大沼国際セミナーハウス

3ヶ国語の同時通訳設備を備えた国際会議場を持つ。森に包まれたこの施設では、会議の最中にもリスや野鳥の営みの姿などを見ることが出来る。非日常的な空間で行う会議、研修会はきっと印象深いものとなるでしょう。



■赤松並木

江戸末期の安政5年(1858)に当時の箱館奉行組頭、栗本瀬兵衛が佐渡から赤松の種子を取り寄せ大きくなった苗は五稜郭周辺に植樹されました。

その後、明治9年(1872)に明治天皇が七重勸業試験場(七重官園)に行幸されたのを記念して相当数が札幌本道(国道5号線)沿いに移植されました。これが**赤松並木**の始まりです。

昭和61年に「日本の道百選」に選ばれ、平成2年には道の日の愛称募集で「赤松街道」と名付けられています。

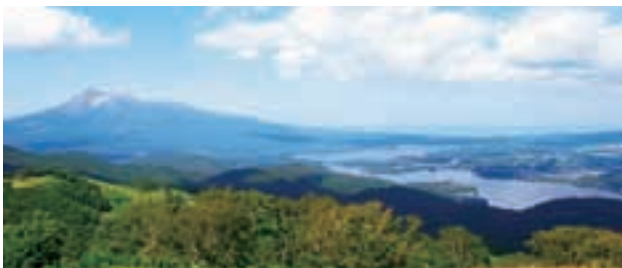
平成8年には、歴史上重要な幹線道路として利用され、歴史的・文化的価値を持つ道路であることを示す「**歴史国道**」にも併せて選定されました。



■大沼国定公園

「大沼」「小沼」「蓴菜沼」の3つの湖と、126の小島が織りなす繊細な風景は、北海道では稀な日本庭園的な景観として江戸時代から知られ、函館開港後は外国人の遊歩地区として指定されました。大正3年(1914)には日本初の林学博士であり、明治神宮はじめ著名な都市公園の建設を数多く手がけた本多静六博士により公園整備が行われ、翌大正4年に新日本三景に選定され、昭和33年(1958)には北海道初の国定公園にも指定されました。

最近では、作家・新井満さんが、あの名曲「千の風になって」を大沼で手掛けたことから、名曲誕生の地としても知られています。記念のモニュメントは、駒ヶ岳と大沼を望む場所に建てられ、連日多くの観光客が訪れています。



■東大沼多目的グラウンド「トルナーレ」

駒ヶ岳を一望できる素晴らしい自然と緑に囲まれたサッカー場とラグビー場をメインとする町民多目的グラウンド“トルナーレ”。

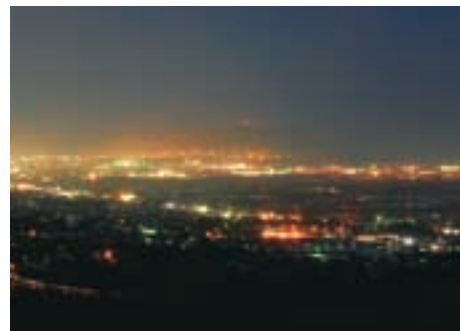
“トルナーレ”とは、サッカーの本場イタリアの言葉で「おかえり」という意味。みんなが自然にかえり、安らげる場所という願いをこめた愛称です。

また、平成12年8月には、トルシエ監督率いる日本代表が、シドニーオリンピック直前の合宿地としてここを選び、グラウンドのコンディションや周りを囲む森林がもたらす静粛性と環境のさわやかさを高く評価したことから、サッカーJ1チームも毎年合宿に訪れています。



■町営城岱牧場

北に駒ヶ岳、南に函館山、南西眼下には大野平野を一望できる風光明媚な牧場で、道路沿いの展望台からは日中はすばらしい自然の景観、夜間には宝石をちりばめたような函館の夜景、通称「裏夜景」を楽しむことができます。



■グレートラン・ウォーク

黄金色に染まった紅葉の大沼をランニングやウ



オーキングで楽しむ「大沼グレートラン・ウォーク」。毎年、約1,000人が参加する道南でも有数のスポーツイベントです。



やさしさと躍動のふれ愛タウン「とよころ」

豊頃町長 宮口 孝



豊頃町は、北海道十勝地方の東南端に位置する、農業と漁業を基幹産業とする人口約3,700人の町です。町名の由来はアイヌ語の「トエコロ」で、「大きなフキが生えていたところ」といわれています。

本町に本格的な開拓の鋤が入れられたのは明治中期で、明治30年（1897年）には本町の開拓に大きな役割を果たした二宮尊親（二宮尊徳の孫）が福島県から興復社一行を率いて二宮地区に入植し、豊頃町から十勝開拓の歴史がはじまりました。

豊頃町の農業は、広大な土地資源を活かし、大規模で機械化された生産性の高い農業が展開されており、農家一戸当たりの平均耕地面積は40haを超え、全国平均の25倍以上の規模であり、乳牛飼養農家1戸当たりの乳用牛頭数は約120頭となっており、日本最大の食料供給基地として発展してきた十勝の中核をなしています。

また、十勝川河口南西部に位置する大津地域を拠点として、秋サケの名で知られるサケ定置網漁を中心に、カニ、ホッキ、シシャモ、ツブなどの漁業が営まれています。大津漁港（第4種）は、サケの名産地として全国的にも名を知られている漁港です。

本町には、魅力溢れる自然があります。十勝川流域の低地には、蛇行によって残された河跡湖が点在しており、フナ、コイなどの魚類や野鳥の宝庫として親しまれ、河岸部では砂浜が発達しており、川が砂によりせき止められて造られた長節湖、湧洞湖などがあり、その周囲には季節になるとハマナス、ヒオウギアヤメをはじめとした美しい花々が咲き乱れています。そして、十勝川沿いに雄大にそびえる町木「はるにれの木」は、訪れる全ての人々を、四季折々の美しい姿で迎えてくれます。



●える夢館



21世紀を担う「躍動感あふれる人づくり」をコンセプトに、子どもからお年寄りまで広い年齢層が手軽に幅広く利用できる施設として、平成13年12月にオープンしました。館内には、映画上映会や芸術鑑賞、そして多目的に使用されている「はるにれホール」(可動席220席、最大収容人員328人)や、町木「はるにれ」がイメージされた図書館もあり、オープン以来、町民の方々のコミュニティ・文化活動の中心として幅広く利用されています。

●大津漁港



漁港は、昭和27年第1種漁港に指定され、さらに、昭和44年には、十勝管内唯一の第4種漁港に指定変更されると、翌年から本格的な漁港建設が始まり、昭和54年に掘り込み式の漁港が完成しました。また、平成6年から第9次漁港整備として、北防波堤の整備が進められています。

現在、本漁港沖合は北海道東部沿岸域の主要漁場であり、十勝管内・釧路管内の漁船等の避難港として位置付けられているとともに、地元漁船や管内遊漁船の拠点基地港として利用されています。

●大根撰果場



「とよころブランド」として確立した「十勝だいこん」7月から受入を開始し、主に首都圏や関西に出荷されます。近年、生産者の高齢化や出荷額の下落により量は減少してきているものの、平成20年の作付面積は約80haあり、十勝の中心作物である小麦、馬鈴しょ、甜菜、大豆の畑作4品のほかに、本町農業の中心となる作物です。

みずみずしくシャキシャキとした食感と、一度食べるとやみつきなる味わいの「十勝だいこん」は、本町自慢の特産品の一つです。

●サケ定置網漁業



大津地域の漁業活動は、サケの人工ふ化放流事業の成果により、サケ定置網漁業の水揚げが9割ほどを占めています。

また近年では、つくり育てる漁業に取り組んでおり、陸上施設でのクロソイおよびマツカワ等の中間育成・放流事業を実施するなど、漁業経営の安定化を図る取組みを進めています。

大津で獲れたサケは、その品質の素晴らしさから「大津産秋サケ」として全国的にも知られるようになり、本町を代表する味覚となっています。

【豊頃町の概要】(2008年9月1日現在)

- 面積 536.52平方km
- 人口 3,732人
- 世帯数 1,486世帯
- 町の木 ニレ
- 町の花 エゾムラサキツツジ

【町章】

- トヨコロの文字を中心から抽象化して図案化、外の円で平和、親和、協力、団結を、中の三重円で太平洋と十勝川の波紋を表現、豊頃町の限らない躍進を表しています。



北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



平成20年9月24日(水)13時30分から北海道電気会館において、当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会との共催（電気・空衛連絡協議会）で、北海道開発局営繕部新宅浩明部長をはじめ幹部の方々のご出席をいただき、意見交換会を実施した。

【議題】

1. 平成20年度開発局営繕事業の概要について
2. 営繕工事における総合評価及び資料提出における注意事項について
3. 低入札価格調査及び単品スライドについて
4. 環境対策について
5. 両協会の事業取組状況について
6. 要望事項及び質問事項について
7. その他・意見交換



新宅 部長 挨拶

【出席者】

○北海道開発局営繕部

部 長	新宅 浩明	様
営繕管理課長	湊 雅則	様
設備課長	秦 良昌	様
技術・評価課長	須藤 光幸	様
営繕積算調査官	山田 雅典	様
設備課長補佐	山崎 雄司	様
設備課長補佐	山本 宏	様

○(社)北海道空調衛生工事業協会

会 長	池田 薫	
副会長	末永 誠一、小坂 典行	
	中山 治之、西川 清一	
常任理事	田村 隆幸、植田 米男、	
	千葉 清孝、徳本 章	
事務局長	小林 雅英	

○(社)北海道電業協会

会 長	吉川 照一	
副会長	中野 章、山口 勉、	
	野尻 武彦	
理 事	加藤 勝利、橋本 耕二、	
	萩本 哲夫、小野寺涼一、	
	西山 陽一	
専務理事	広島 維夫	
事務局長	枝並 秀喜	

現場からこんにちは



工事名称 里塚斎場大規模改修

工事場所 札幌市清田区里塚506

工期（受変電・動力設備）

平成19年11月22日から
平成21年1月30日まで

工期（電灯・弱電設備）

平成19年10月24日から
平成21年1月30日まで

構造規模 SRC造・RC造 地上2階、
地下1階建て

延べ面積 8,530㎡

受電方式 6.6kv 2回線受電
(常用、予備)

受電容量 2,100KVA

発注者 札幌市

受変電・動力設備

北弘電・島津・コロナ特定共同企業体

電灯・弱電設備

北盛・北明・北第百特定共同企業体

札幌市に2ヶ所ある斎場のうちの一つである里塚斎場は、昭和59年の供用開始以来、友引と元旦以外は休まず稼働してきましたが、建物や火葬炉などの設備の老朽化に伴い、今回の大規模な改修になりました。

この工事では、老朽化した建物の改修、設備の更新の他に、多目的トイレ、エレベーターを設置してバリアフリーに配慮し、会葬者控室も椅子、テーブルを備えた和洋折衷型で、より使いやすい施設にします。

改修工事ではありますが、既存設備を最大限に活かし環境に配慮されております。

受変電・動力設備では、天井内の動力配線、火葬棟の動力盤の据付、高圧キュービクルの据付、予備電源用埋設配管、常用高圧ケーブル引き込みが完了。現在、各所機械室内配管・配線作業を施工中で進捗率は75%です。

電灯・弱電設備では、天井内配線、火葬棟炉前間接照明取付、機械室電灯取付、火報感知器取付、電灯盤据付、電灯幹線の延線完了。屋外照明灯工事も完了し現在、機械室内照明用配管配線、待合棟の器具付け作業を実施中で、進捗率は35%です。これから中央監視、火葬状況モニターシステム等の据付工事が予定されています。

11月上旬には受電し各設備ごとの試験を行い、12月上旬には総合連動試験を行う予定です。

これから工程面で重要な段階を迎え、安全面に細心の注意を払って、竣工に向かっていきます。



上段左より 漆山さん（北第百通信）、小村さん（北盛電設）、村本さん（北明電気）
葛西さん（コロナ電業）、中町さん（北弘電社）、玉置さん（島津電設）

厚生委員会行事報告

第3回ゴルフ会 平成20年7月17日(木) 札幌エルムCC 参加者32名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	深田 哲	トーエネック	45	40	85	13	72
準優勝	山口 邦治	山口電気	49	46	95	22	73
1位	和田 隆幸	東邦電気	49	50	99	26	73
2位	佐久間忠信	北明電気	41	38	79	4	75
3位	木ノ内武美	サンワコムシス	46	41	87	12	75
4位	松原 一朗	北明電気	39	40	79	4	75
5位	桜庭 謙次	北電力設備	41	48	89	12	77
6位	山口 勉	山口電気	45	45	90	13	77
7位	関戸 武勲	岸野電気	47	47	94	17	77
8位	加藤 定義	北盛電設	49	49	98	21	77
9位	元永 修	北海電気	52	46	98	21	77
10位	萩本 哲夫	三共電気	50	50	100	22	78

(特別賞)

B G	佐久間忠信 (北明電気)	N P	松原 一朗 (北明電気)
B G	松原 一朗 (北明電気)	NP×2	山口 勉 (山口電気)
平和賞	橋本 耕二 (橋本電気)	N P	枝並 秀喜 (電業協会)
大波賞	住本 邦裕 (タツツ電気)	N P	田代 誠一 (新生テクノス)
小波賞	宮本 義之 (サンエス電気)	N P	住本 邦裕 (タツツ電気)
BB賞	小林 勇治 (三共電気)	N P	円尾 博一 (松下電工)
ラッキー賞	円尾 博一 (松下電工)		



第3回優勝者 深田さん(左)山口副会長(右)



第4回 スタート前の様子

第4回ゴルフ会 平成20年9月4日(木) 札幌スコットヒルGC 参加者34名

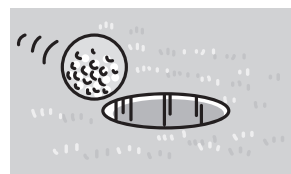
順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	田村 富生	石垣電材	46	49	95	30	65
準優勝	渡辺 広史	東光電気	48	42	90	24	66
1位	福平 薫	能美防災	43	42	85	20	65
2位	宮本 義之	サンエス電気	45	46	91	22	69
3位	小野寺涼一	大成電気	41	39	80	10	70
4位	矢田 彰	北弘電社	39	41	80	9	71
5位	中村 好宏	旭日電気	42	43	85	13	72
6位	吉田 岳夫	北海電気	43	42	85	13	72
7位	加藤 勝利	協信電気	49	48	97	25	72
8位	桜間 仁敏	北海道古川	39	42	81	8	73
9位	佐藤 修	弘電社	44	41	85	12	73
10位	暁 友佑	北札幌電設	43	43	86	13	73

(特別賞)

B G	佐久間忠信 (北明電気)	BB賞	今野 哲彦 (亜細亜電気)	N P	吉田 岳夫 (北海電気)
B G	住本 邦裕 (道タツツ)	ラッキー賞	佐々木 恵 (浅海電気)	N P	富本 友一 (北工電気)
平和賞	坂本 桂一 (きんでん)	N P	小野寺涼一 (大成電気)	N P	佐久間忠信 (北明電気)
大波賞	村上 研 (エミヤ)	N P	矢田 彰 (北弘電社)	N P	西 輝男 (北都電気)
小波賞	佐久間忠信 (北明電気)	N P	中村 好宏 (旭日電気)	N P	松本 一雄 (日本電設)



第4回優勝者 田村さん(左)加藤総務委員長(右)





平成20年 7月25日(金)開催のボウリング部 会報告

7月25日(金)今年度1回目のボウリング部会がノルベサで開催されました。

今回も、総勢27名というたくさんの方のみなさんに参加していただき、いつもながらの盛大で、多少うるさいですがとても楽しいひとときを過ごさせていただきました。

参加者の大半は、若手営業マンで若さの熱気で、とても不景気とは感じさせない元気はつらつな会です。今回は本来の実力???を発揮した北電力設備の三上さんが優勝し、50代オヤジパワーを爆発させました。

準優勝も同じくオヤジパワーが炸裂して、島津電設(株)の嶋津社長でした。

今回は50代絶好調の大会となりました。

恒例になっております、優勝者、その他の挨拶も行われ、表彰式は大変盛りあがりました。

特に、協会の広島専務理事が、ブービー賞獲得で照れ笑い気味に挨拶されたのが印象的でした。

年に2回の会ですが、関場部会長を中心として、参加者の多いボウリング部会です。今後ともたくさんの方のみなさんの参加により親睦を深めていきたいと思っております。

ボウリング部会幹事

小原木 正弘(弘和電気(株)) 記

平成20年度前期
北海道電業協会ボウリング大会順位表 参加者27名
平成20年7月25日開催

順位	氏名	1G	2G	IGハンデ	トータル	会社名
優	三上 哲哉	193	144	18	373	北電力設備工事
準	嶋津 博	178	107	33	351	島津電設
1	鈴木 暁彦	156	114	36	342	拓北電業
2	藤井 大樹	118	116	52	338	でんこう
3	大塚 雅史	140	129	33	335	北盛電設
4	菊地 大	125	110	46	327	協信電気工業
5	関場 憲明	157	137	14	322	安達電設
6	伊藤 寿教	78	88	75	316	三共電気工業
7	森崎 亨一	162	113	19	313	北盛電設
8	内川 勝哉	124	136	25	310	北弘電社
9	内田 勝久	127	97	43	310	北海電気工事
10	西村 英一郎	168	122	10	310	北盛電設
(ハイゲーム賞) 193ピン		三上 哲哉		北電力設備工事		
(大波賞)		嶋津 博		島津電設		
(小波賞)		稲津 亘		北盛電設		
(ラッキー賞)		大塚公仁子		拓北電業		
(ブービー賞)		広島 維夫		北海道電業協会		
(ブービーメーカー賞)		大塚 正久		北明電気工業		
(頑張ってストライクだしま賞)		伊藤 寿教		三共電気工業		



優勝者 三上さん(左) 関場部会長(右)

野球部会活動報告

会員の皆様いつもお世話になっております。

日頃より、野球部会の活動にご協力をいただきまして有難うございます。

さて本年度の会社対抗ソフトボール大会は、例年より早めの7月22日(火)に「つど〜む」にて開催致しました。

参加チームは、5チーム（ドウデン、北弘電社、北海電気工事、北電力設備、JVチーム）で昨年より1チーム多い参加でした。その中で注目されたのは、ドウデンチームの連覇か？ それを阻むチームが現れるのか？ 結果は！！なんと昨年の雪辱を晴らし準決勝でドウデンチームを敗った、北弘電社チームが勢いそのままに優勝に輝きました。オメデトウございました。

参加頂いた全チームのみなさん来年も白熱した

試合を期待します。又、新たなチームの参加も期待致します。

今大会は各社で数名集まって組んだJVチームの参加がありました。

1社で1チーム参加でなくても個人で申し込んでいただければ、たくさんチームを作れると思いますので気軽に参加して下さい。

今年以上多数のチームに参加していただき大会が盛り上がりと思います。

今大会も皆様のご協力により無事終わることができました、幹事一同感謝いたします。

ご協力ありがとうございました。

野球部会幹事一同

大会日程 平成20年 7月22日(火)

大会会場 つど〜む（東区栄町885-1）

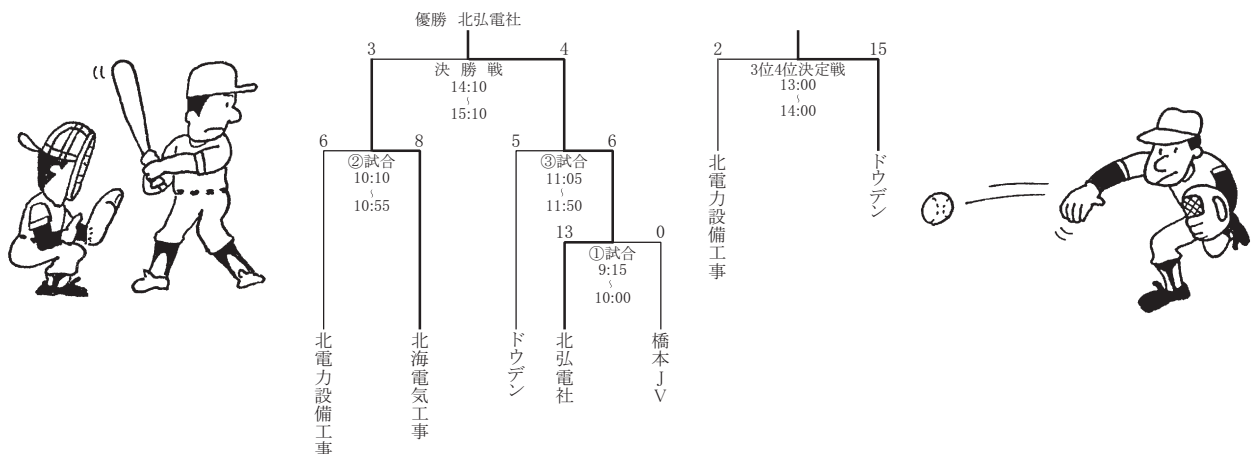


優勝の北弘電社チーム



準優勝の北海電気工事チーム

成績表



業界だより

- | | | |
|----------------------|-------------|-------------------------|
| ○会員代表者などの変更 | ・北都電気(株) | |
| ・(株)つうけん(法人職務執行者の変更) | | 平成20年7月1日付 |
| | 平成20年6月25日付 | (新)代表取締役社長 川野辺弘文氏 |
| (新)フィールド事業部執行役員 | (旧) 〃 | 荒 博文氏 |
| | 白髪 博司氏 | ・北電力設備工事(株)(法人職務執行者の変更) |
| (旧) 〃 | | 平成20年7月7日付 |
| | 奥 正晴氏 | (新)代表取締役社長 伏木 淳氏 |
| ・(株)関電工北海道支店 | | (旧) 〃 会長 伏木 忠了氏 |
| | 平成20年6月25日付 | ・協信電気工業(株) |
| (新)執行役員北海道支店長 樋口 友一氏 | | 平成20年7月31日付 |
| (旧) 〃 岩下 良二氏 | | (新)代表取締役社長 佐藤 繁男氏 |
| | | (旧) 〃 加藤 勝利氏 |

理事会・委員会報告

理 事 会

◇平成20年8月29日(金) 12:00~14:00

第3回議題

【協議事項】

1. 役員等選任の対応について
2. 役員会の日程について
3. 今後の協会主要事業のスケジュールについて
4. 20年度経営者懇談会・セミナーの開催について

提案どおり承認された

【報告事項】

5. 本部理事会等報告について
6. 本部220回政策委員会開催概要について
7. 本部・支部事務局長会議開催概要について
8. 開発局と建専連との意見交換会開催概要について
9. 平成20年度会員大会について
10. 北海道との防災協定に関する打ち合せ状況について
11. 技術系学校先生・生徒との現場見学・懇談会

開催概要について

12. 登録電気工事基幹技能者特例講習会、認定講習会の実施について
 13. 会員代表者、法人職務執行者の変更について
 14. 20年「公共建築の日」イベント事業への協力について
 15. 20年度北海道赤レンガ建築賞候補
 16. 20年8月~9月行事予定について
 17. その他意見交換
- 以上、概要を報告(広島専務理事)

三 役 会

◇平成20年7月14日(月) 12:00~14:00

第4回議題

1. 役員等選任の対応
2. 本部220回政策委員会開催概要
3. 本部事務局長会議開催概要
4. 平成20年度経営者懇談会・セミナー開催(案)
5. 技術系学校教諭と現場見学・懇談会の開催
6. 技術系学生との現場見学・懇談会の開催

7. 平成20年度札幌市電気設備施工研修会の開催
8. 技術講習会の講師派遣依頼（苫小牧地区）
9. 会報新春特集号の取材
10. 「公共建築の日」記念イベントへの協力依頼
11. 平成20年度北海道赤レンガ建築賞実行委員会
の開催
12. 北海道建設業審議会委員
13. 20年7月～8月協会行事予定
14. その他意見交換

◇平成20年8月4日(月) 12:00～14:00

第5回議題

1. 役員会の日程（案）
2. 今後の協会主要事業のスケジュール
3. 本部理事会報告
4. 北海道開発局幹部と建専連との意見交換
5. 技術系学校教諭と現場見学・懇談会の開催結
果
6. 技術系学生との現場見学・懇談会の開催
7. 平成20年度札幌市電気設備施工研修会の開催
8. 20年「公共建築の日」等の記念イベント事業
への協力
9. 平成20年度北海道赤レンガ建築賞候補の募集
10. 20年8月～9月電業協会行事予定
11. その他意見交換

◇平成20年9月10日(水) 12:00～14:00

第6回議題

1. 役員会の日程
2. 今後の協会主要事業のスケジュール
3. 開発局営繕部との意見交換会要望事項等
4. 北海道の建築工事に係る合同研修会への出席
依頼
5. 本部政策委員会（221回）開催概要
6. 「公共建築の日」等の記念イベント事業への
協力
7. 平成20年度北海道赤レンガ建築賞候補
8. 20年8月～9月電業協会行事予定
9. その他意見交換

総務委員会

◇平成20年9月29日(月) 12:00～14:00

第2回議題

1. 20年度総務委員会員
2. 今後の役員会等の日程について
3. 会費見直しの会員調査
4. 平成20年度経営者懇談会・セミナー
5. 北海道の建築工事に係る合同研修会
6. 技術系学校教諭との見学会、懇談会
7. 北海道との防災協定に関する事務連絡会議
8. 本部理事会開催概要
9. 平成20年度登録基幹技能者特例講習会
10. 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との
意見交換会開催
11. 「公共建築の日」等の記念イベント事業への
協力
12. その他 意見交換

経営委員会

◇平成20年9月12日(金) 12:00～14:00

第2回議題（議長：元永副委員長）

1. 第2回議事録（案）の承認
2. 電設協第221政策委員会の開催概要
3. 北海道開発局と建専連地方支部長との意見交
換会開催概要
4. 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との
意見交換会開催
5. 平成20年度経営者懇談会・セミナー開催(案)
6. 北海道の建築工事に係る合同研修会
7. 分離発注推進のための陳情要請
8. 今後の協会行事の内容・日程
9. その他 意見交換

広報委員会

◇平成20年9月25日(木) 15:00～16:30

第2回議題

1. 会報「冬号」編集方針

2. 会報「秋号」校正 (電気会館)
 3. 新春特集 17日(木)・第3回ゴルフ部会コンペ (エルム)
 4. その他意見交換 ・本部運営委員会 (東京)

吉川支部長

技術安全委員会

◇平成20年10月1日(水) 12:00~13:30

第2回議題

1. 実施報告
 - ・平成20年度安全大会の開催
 - ・札幌市電気設備施工研修会の開催
 - ・技術講習会「積算業務の基礎と実務」
 - ・技術系学校教諭との見学会、懇談会
 - ・技術系学校生徒との現場見学会
 - ・20年度登録基幹技能者特例講習会
 - ・1級実地電気工事施工管理者受験準備講習会の開催
2. 登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催日程
3. 工事現場安全パトロールの開催日程
4. 技術講習会の開催
5. 会員対象の現場見学会の開催
6. その他意見交換

基幹技能者認定講習会講師打ち合わせ

事務局日誌

- 7月1日(火)・新公益法人説明会
 広島専務理事他
 ・札幌業界団体連絡協議会
 広島専務理事
 4日(金)・本部支部事務連絡会議 (東京)
 広島専務理事
 9日(水)・本部政策委員会 (東京)
 山口副会長
 14日(月)・第4回三役会議
 15日(火)・建専連と開発局との意見交換会
 広島専務理事
 16日(水)・札幌市電気設備施工研修会

- 18日(金)・会報新春特集WG打合せ
 22日(火)・会社対抗ソフト (ツドーム)
 23日(水)・第2回経営委員会
 24日(木)・本部理事会 (東京)
 吉川支部長他
 25日(金)・ボーリング部会
 28日(月)・会報新春特集取材 パークホテル
 29日(火)・技術系学校の先生との現場見学・懇談会
 31日(木)・技術講習会「積算業務の基礎」
 苫小牧電気会館

- 8月4日(月)・三役会議
 5日(火)・技術系大学など学生との現場見学会
 18日(月)・官公庁挨拶まわり (協会三役)
 26日(火)・公益法人セミナー
 広島専務理事
 27日(水)・第3回理事会、常議員会
 28日(木)・登録電気工事基幹技能者特例講習会
 (電気会館)

29日(金)・歌唱部会

- 9月4日(木)・第4回ゴルフ部会コンペ
 (スコットヒル)
 5日(金)・1級実地受験準備講習会
 (セントラル札幌北ビル)
 ・本部運営委員会 (東京)

吉川支部長

- 10日(水)・第6回三役会議
 12日(金)・第2回経営委員会
 19日(金)・営業マンソフトボール
 ・登録電気工事基幹技能者特例講習会
 ・本部運営委員会、理事会 (東京)
 吉川支部長他
 24日(水)・開発局との意見交換会 (電気会館)
 25日(木)・第2回広報委員会
 30日(火)・第2回総務委員会

編集後記

じんかんばん じさいおう がうま
「人間万事塞翁が馬」サミットやオリンピックが無事終わり、感動や元気を頂いた後の米証券の老舗リーマン・ブラザーズの破綻。金融不安は連鎖的に広がり、それこそ大恐慌以来ともいう金融危機の様相を見せている。以前、アメリカが咳をしたら日本は風邪をひくと言われました。今後の日本経済、どうなる事やら…不安や景気後退の後にくる変転に希望を託したいものです。

さて、この度は大変お忙しい中、北海道建設部建築局建築局長 瀧田裕道様にご執筆を頂き、真にありがとうございました。

今後とも当協会に対するご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

広報副委員長 嶋津 博



発行 平成20年10月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp